



公益社団法人鹿児島県トラック協会 新研修センター基本構想

令和4年 10 月

公益社団法人鹿児島県トラック協会

■新研修センター基本構想

はじめに

公益社団法人鹿児島県トラック協会は、トラック運送事業者で組織された公益法人で、物流の要であるトラック輸送に求められる「社会と共生し、環境にやさしいトラック輸送の実現」という目標を達成するための諸活動を展開しています。

昭和55年に竣工した当協会の研修センターは、協会会員の交通安全、労働安全セミナー等の各種研修を行うとともに会員の活動拠点として活用されてきました。

しかしながら、築後42年が経過し、駐車場が狭いこと、建物及び設備機器の老朽化が進んでいることに加え、相談スペースが確保できないこと等により、当協会会員の利用に支障をきたす状況となってきたことから、研修センターの建替検討が進められてきました。

建設予定地である鹿児島市西別府町の旧鹿児島トラックステーションは、鹿児島インターチェンジに近接しており、利便性・拠点性が高く、鹿児島市のハザードマップでも自然災害等の対象外で強固な地盤で液状化の心配がないなど、安全性が高いことがあげられます。さらに、十分な駐車台数を確保できる敷地であり、比較的安価で取得可能であることから、同地へ移転することについて、令和3年5月の理事会で決定し、6月の社員総会に報告されました。

この基本構想は、現研修センターが抱える課題を解決し、トラック運送事業発展の拠点となる新研修センターを整備するための基本的方向を取りまとめたものです。

1 新研修センターの基本理念と整備の基本方針

(1) 基本理念

トラック協会のシンボルとして、トラック運送事業の発展の拠点

(2) 整備の基本方針

① 会員等が利用しやすいセンター

- ・ 研修室や収容人員の増を図り、研修や会議等に利用しやすい施設
- ・ 利用者に安らぎを与える内装・資材を採用した施設
- ・ 多目的トイレの整備などバリアフリーに対応した施設

② 機能性・効率性を重視した経済的なセンター

- ・ シンプルかつ機能的な空間で構成された施設
- ・ 維持管理が容易で経済的な施設
- ・ 用途や規模の変更に柔軟に対応できる施設
- ・ リモートセミナーの開催・受講に対応した設備
- ・ 経年劣化が生じにくい構造・材質などを用いた設備

- ③ 環境に配慮したセンター
 - ・ 消費電力削減など環境に配慮した施設
 - ・ 省エネルギー設備導入や新エネルギー技術導入による二酸化炭素の排出量削減に貢献する施設
- ④ 災害に強いセンター
 - ・ 耐震性能や耐火性能を有するなど災害の影響を受けにくい施設
 - ・ 防災資材・救援物資の保管備蓄倉庫を備えた大規模災害時の緊急物資輸送の拠点となる施設
- ⑤ 感染症対策に配慮したセンター
 - ・ 新型コロナウイルスなどの感染症対策に配慮された施設
 - ・ 換気に優れ、非接触センサーによる照明等の整備された施設
- ⑥ 職員の働きやすいセンター
 - ・ 職員動線に配慮された施設
 - ・ 休憩室、更衣室など職員のリフレッシュ空間を備えた施設
 - ・ 書庫、倉庫、収納等が配慮された施設

2 新研修センターの概要

(1) 敷地概要

① 位置	鹿児島市西別府町2941-19
② 敷地面積	7,010.23㎡
③ 用途地域	準工業地域
④ 防火・準防火地域	建築基準法第22条指定地域
⑤ 特別用途地区	第一種特定建築物制限地区
⑥ 流通業務地区	鹿児島流通業務地区
⑦ 位置図	

(2) 計画施設概要

① 構造	特に定めない
② 階数	2階建
③ 延べ面積	1,500 m ² ～1,700 m ² 程度

(3) 所要室

分類	所要室名	必要面積
事務局	事務室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局役職員がゆとりを持って執務できる空間 ・ 来訪者に対応できる受付カウンター、応接室及びプライバシーが確保できる相談コーナー（2ヶ所）の設置 ・ サーバルーム（サーバーラック設置） 	300 m ² 程度
	書庫	50 m ² 程度
会議室	役員兼講師等控室	40 m ² 程度
研修室	大研修室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 収容人数：200人（3人掛け） ・ 資機材倉庫 ・ 可動間仕切り ・ スクリーン、音響・映像設備 ・ リモート講習対応 	350 m ² 程度
	小研修室 <ul style="list-style-type: none"> ・ リモート会議対応 ・ スクリーン壁の設置 	50 m ² 程度
他諸室	倉庫①	40 m ² 程度
	倉庫②	15 m ² 程度
	更衣室（男 15 m ² 程度・女 15 m ² 程度）	計 30 m ² 程度
	給湯室（各階1ヶ所）	各 10 m ² 程度
	トイレ（各階1ヶ所） （男・女・多目的）	各 45 m ² 程度
貸事務所	事務所①	40 m ²
	事務所②	200 m ²

(4) 附帯設備

設備等	備考
エレベーター	1基（バリアフリー対応）
音響・映像設備	大研修室、小研修室
入退館セキュリティ	施設出入口
非常用発電設備※	1基（稼働時間：2時間以上）
太陽光発電設備※	適宜

※：予算の範囲内を前提に積極的な提案を求めます。

(5) 屋外・外構

設備等	備考
屋外駐車場	普通車 150 台程度（舗装・区画）、大型車 4 台程度
車庫	普通車 5 台（公用車用）
出入口	門扉・看板を設置、既存コンビニエンスストア利用者との進入動線に配慮
植栽・外灯	適宜
外構、側溝	現構造物の不具合箇所を適宜修繕
保管備蓄倉庫※	1 棟（300 m ² 程度）、防災資材・救援物資用

※：予算の範囲内を前提に積極的な提案を求めます。

3 概算事業費（予算）

項目	予算額	備考
総工事費	約 490 百万円	本体（建築・機械・電気）、 附帯設備、屋外・外構含む
基本・実施設計、工事監理	約 40 百万円	地盤調査費用含む

※トラックステーション管理棟及び大型外灯の解体・撤去含む

※トラックステーション管理棟は建設期間中の工事事務所として利用可

4 事業スケジュール

項目	令和4年度			令和5年度												令和6年度								
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
設計者選定 (プロポーザル)	■	■	■																					
基本・実施設計				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■									
本体工事 附帯設備工事 屋外・外構工事													■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

5 参考資料（別添）

- ・ 組織図
- ・ 地積測量図
- ・ 地盤調査データ（近隣）